



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社トクヤマ

上場取引所 東

コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 幸後 和壽

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 松本 良文

TEL 03-6205-4832

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 141,912 | 1.6 | 8,194 | △6.6 | 5,603 | △6.2 | 2,709 | △7.3 |
| 23年3月期第2四半期 | 139,685 | 6.8 | 8,775 | 4.8 | 5,976 | △14.8 | 2,924 | △31.5 |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,553百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △172百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 7.79 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 8.40 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 494,647 | 249,085 | 49.0 | 696.51 |
| 23年3月期 | 474,708 | 247,656 | 50.8 | 693.18 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 242,351百万円 23年3月期 241,196百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 24年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 292,500 | 0.9 | 16,000 | △20.6 | 12,000 | △30.8 | 7,500 | △23.2 | 21.55 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成23年11月4日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期2Q | 349,671,876 株 | 23年3月期 | 349,671,876 株 |
| 24年3月期2Q | 1,722,325 株 | 23年3月期 | 1,716,789 株 |
| 24年3月期2Q | 347,951,964 株 | 23年3月期2Q | 347,980,913 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | P. 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 8 |
| 四半期連結損益計算書 | P. 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | P. 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 12 |
| (5) セグメント情報等 | P. 12 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|--------|
| 平成24年3月期 第2四半期連結累計期間 | 1,419 | 81 | 56 | 27 |
| 平成23年3月期 第2四半期連結累計期間 | 1,396 | 87 | 59 | 29 |
| 増減率 | 1.6% | △6.6% | △6.2% | △7.3% |

(売上高)

苛性ソーダや塩化ビニル樹脂等の販売数量の増加と石油化学製品を中心とした販売価格の是正等により、前年同期より22億2千万円増加し、1,419億1千万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(売上原価)

多結晶シリコン製造設備の減価償却費の減少等はあったものの、石油化学製品の主要原料であるエチレン・プロピレンの価格上昇等により、前年同期より1億3千万円増加し、1,012億4千万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

新基幹システム稼動に伴う減価償却費の増加等により、前年同期より26億6千万円増加し、324億7千万円（前年同期比9.0%増）となりました。

(営業利益)

一部製品の販売数量の増加と販売価格の是正等はあったものの、新基幹システム稼動に伴う減価償却費の増加等により、前年同期より5億8千万円減少し、81億9千万円（前年同期比6.6%減）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は主に為替差損の減少等により前年同期より2億円改善したため、経常利益は3億7千万円の減少にとどまり、56億円（前年同期比6.2%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・少数株主損益調整前四半期純利益・四半期純利益)

特別損益は子会社の事業整理損の減少等により、前年同期より13億8千万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期より10億1千万円増加し、51億2千万円（前年同期比24.6%増）となりました。

応分の税金費用を加味した少数株主損益調整前四半期純利益は、前年同期より2億6千万円減少し、30億6千万円（前年同期比8.0%減）となりました。少数株主損益調整後の四半期純利益は前年同期より2億1千万円減少し、27億円（前年同期比7.3%減）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|-----------------------|
| | 化成品 | 特殊品 | セメント | 機能部材 | | | | |
| 平成24年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 42,776 | 42,575 | 31,589 | 21,969 | 20,798 | 159,708 | △17,795 | 141,912 |
| 平成23年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 38,779 | 46,233 | 30,316 | 21,485 | 20,735 | 157,550 | △17,865 | 139,685 |
| 増減率 | 10.3% | △7.9% | 4.2% | 2.2% | 0.3% | 1.4% | — | 1.6% |

営業利益

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------------|---------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-----------------------|
| | 化成品 | 特殊品 | セメント | 機能部材 | | | | |
| 平成24年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 871 | 6,943 | 1,010 | 1,141 | 871 | 10,838 | △2,643 | 8,194 |
| 平成23年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 1,265 | 7,312 | 623 | 1,128 | 1,219 | 11,549 | △2,774 | 8,775 |
| 増減率 | △31.1% | △5.1% | 62.0% | 1.2% | △28.5% | △6.2% | — | △6.6% |

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

東日本大震災の影響で同業他社が一時停止したことに伴う苛性ソーダや塩化ビニル樹脂等の販売数量の増加、及び塩化ビニル樹脂や酸化プロピレン等の石油化学製品の販売価格是正効果等により売上高は増加しました。一方、利益については、前述の効果はあったものの、原燃料価格上昇に伴うソーダ灰と苛性ソーダの国内販売、及び円高に伴う塩化ビニルモノマーの輸出販売の収益低下等により減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は427億7千万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は8億7千万円（前年同期比31.1%減）で増収減益となりました。

(特殊品セグメント)

多結晶シリコンは、主に東日本大震災の影響に伴う第1四半期連結会計期間における販売数量の減少、及び円高の影響により減収となりました。なお、第2四半期連結会計期間の販売数量は回復しました。一方、利益については、前述した要因に加え原燃料価格の上昇があったものの、主に平成22年3月期に稼働を開始した製造設備の減価償却費の減少により増益となりました。

医薬原薬は、主にジェネリック医薬品向けの販売が好調で増収増益となりました。

乾式シリカは、主に東日本大震災の影響、半導体用研磨材向けの販売数量の減少、及び円高の影響等により減収となりました。

窒化アルミニウムは、半導体市場の減速により販売数量が減少し、減収減益となりました。

電子工業用高純度薬品をはじめその他製品は、原燃料価格上昇及び円高の影響等により総じて減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は425億7千万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は69億4千万円（前年同期比5.1%減）で減収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内需要の微増を背景に販売数量が増加しました。また、セメント生産量の増加に伴い、原燃料代替用の廃棄物収集量が増加し、増収となりました。また、利益については、石炭等原燃料価格の上昇はあったものの、前連結会計年度から引き続き事業構造改革を推し進め、販売価格の是正にも取り組んだことにより増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は315億8千万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は10億1千万円（前年同期比62.0%増）で増収増益となりました。

(機能部材セグメント)

フィガロ技研株式会社の東日本大震災及び円高の影響に伴うガスセンサ事業の減収、株式会社エクセルシャノンの樹脂サッシ（防耐火グレード）問題の改修作業に伴う販売の低迷はあったものの、株式会社アストムの売上増等により増収となりました。

利益についても、上記した株式会社アストムの売上増、及び株式会社トクヤマデンタルの新製品発売効果等により増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は219億6千万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は11億4千万円（前年同期比1.2%増）で増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,946億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ199億3千万円増加しました。主な要因は、有形固定資産その他（純額）256億8千万円の増加、現金及び預金159億7千万円の増加及び投資その他の資産その他152億円の減少です。

負債は2,455億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ185億円増加しました。主な要因は、社債199億円の増加です。

純資産は2,490億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億2千万円増加しました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は915億円となり、前連結会計年度末に比べ228億8千万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは120億円の収入（前年同期は210億7千万円の収入）となりました。

主な内容は、減価償却費135億6千万円（前年同期は152億円）、売上債権の減少による収入の増加51億6千万円（前年同期は66億5千万円の収入の増加）、製品補償損失引当金の減少による支出の増加48億4千万円（前年同期は21億8千万円の支出の増加）及びたな卸資産の増加による支出の増加47億1千万円（前年同期は10億円の支出の減少）です。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは120億5千万円の支出（前年同期は802億1千万円の支出）となりました。

主な内容は、有形固定資産の取得による支出115億3千万円（前年同期は126億7千万円の支出）です。

なお、前年同期はその他の項目に含まれる金銭の信託の取得による支出676億5千万円がありました。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは228億4千万円の収入（前年同期は177億円の収入）となりました。

主な内容は、社債の発行による収入200億円（前年同期は200億円の収入）、長期借入れによる収入102億1千万円（前年同期は14億3千万円の収入）及び社債の償還による支出50億円がありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表いたしました平成24年3月期通期連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、平成23年11月4日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 29,308 | 45,279 |
| 受取手形及び売掛金 | 74,891 | 69,982 |
| 有価証券 | 40,300 | 47,200 |
| 商品及び製品 | 17,112 | 18,368 |
| 仕掛品 | 8,306 | 11,524 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,887 | 11,155 |
| その他 | 38,133 | 33,028 |
| 貸倒引当金 | △248 | △296 |
| 流動資産合計 | 218,690 | 236,243 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 77,316 | 71,002 |
| その他(純額) | 100,814 | 126,497 |
| 有形固定資産合計 | 178,131 | 197,499 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 235 |
| その他 | 9,489 | 8,878 |
| 無形固定資産合計 | 9,489 | 9,114 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 25,638 | 24,320 |
| その他 | 43,086 | 27,878 |
| 投資損失引当金 | △59 | △68 |
| 貸倒引当金 | △270 | △341 |
| 投資その他の資産合計 | 68,396 | 51,790 |
| 固定資産合計 | 256,018 | 258,403 |
| 資産合計 | 474,708 | 494,647 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 35,195 | 37,047 |
| 短期借入金 | 10,194 | 11,928 |
| コマーシャル・ペーパー | 4,000 | 4,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,090 | 11,799 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,000 | 100 |
| 未払法人税等 | 3,142 | 2,106 |
| 引当金 | 4,454 | 4,953 |
| その他 | 27,090 | 26,004 |
| 流動負債合計 | 97,167 | 97,939 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,100 | 50,000 |
| 長期借入金 | 68,055 | 71,286 |
| 負ののれん | 96 | — |
| 製品補償損失引当金 | 13,221 | 8,380 |
| その他の引当金 | 5,185 | 5,054 |
| 資産除去債務 | — | 4 |
| その他 | 13,225 | 12,895 |
| 固定負債合計 | 129,884 | 147,621 |
| 負債合計 | 227,052 | 245,561 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 53,458 | 53,458 |
| 資本剰余金 | 57,670 | 57,670 |
| 利益剰余金 | 130,791 | 132,456 |
| 自己株式 | △1,413 | △1,415 |
| 株主資本合計 | 240,506 | 242,170 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,647 | 2,783 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △2 |
| 為替換算調整勘定 | △2,958 | △2,601 |
| その他の包括利益累計額合計 | 689 | 180 |
| 少数株主持分 | 6,460 | 6,734 |
| 純資産合計 | 247,656 | 249,085 |
| 負債純資産合計 | 474,708 | 494,647 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 139,685 | 141,912 |
| 売上原価 | 101,103 | 101,241 |
| 売上総利益 | 38,582 | 40,670 |
| 販売費及び一般管理費 | 29,806 | 32,475 |
| 営業利益 | 8,775 | 8,194 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 46 | 50 |
| 受取配当金 | 327 | 282 |
| 受取補償金 | 300 | 380 |
| 持分法による投資利益 | 348 | 266 |
| その他 | 883 | 883 |
| 営業外収益合計 | 1,905 | 1,863 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 858 | 966 |
| 為替差損 | 2,371 | 2,010 |
| その他 | 1,474 | 1,477 |
| 営業外費用合計 | 4,704 | 4,454 |
| 経常利益 | 5,976 | 5,603 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 90 | — |
| 関係会社株式売却益 | — | 97 |
| 投資有価証券売却益 | 424 | — |
| 国庫補助金 | 584 | — |
| その他 | 94 | 7 |
| 特別利益合計 | 1,194 | 105 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 8 | 68 |
| 固定資産処分損 | 293 | 242 |
| 減損損失 | 40 | 119 |
| 製品補償損失引当金繰入額 | 700 | — |
| 環境対策引当金繰入額 | 126 | — |
| 事業整理損 | 849 | — |
| その他 | 1,037 | 150 |
| 特別損失合計 | 3,055 | 581 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,115 | 5,126 |
| 法人税等 | 782 | 2,061 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,332 | 3,065 |
| 少数株主利益 | 407 | 355 |
| 四半期純利益 | 2,924 | 2,709 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,332 | 3,065 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,724 | △857 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △2 |
| 為替換算調整勘定 | △643 | 258 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △136 | 88 |
| その他の包括利益合計 | △3,504 | △512 |
| 四半期包括利益 | △172 | 2,553 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △541 | 2,200 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 368 | 352 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,115 | 5,126 |
| 減価償却費 | 15,207 | 13,565 |
| 製品補償損失引当金の増減額(△は減少) | △2,180 | △4,840 |
| 事業整理損失引当金の増減額(△は減少) | 652 | 11 |
| その他の引当金の増減額(△は減少) | △677 | △356 |
| 受取利息及び受取配当金 | △373 | △333 |
| 為替差損益(△は益) | △324 | △61 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △419 | — |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | — | △97 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △348 | △266 |
| 補助金収入 | △584 | — |
| 支払利息 | 858 | 966 |
| 減損損失 | 40 | 119 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 293 | 242 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 6,657 | 5,168 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,003 | △4,712 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △190 | 1,614 |
| その他 | △2,113 | △969 |
| 小計 | 21,614 | 15,178 |
| 利息及び配当金の受取額 | 680 | 792 |
| 利息の支払額 | △825 | △961 |
| 法人税等の支払額 | △396 | △3,006 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 21,074 | 12,003 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △12,679 | △11,533 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 138 | 94 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △13 | △454 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 642 | 319 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 14 |
| 金銭の信託の解約による収入 | 412 | 5,449 |
| 補助金の受取額 | 324 | — |
| その他 | △69,044 | △5,943 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △80,219 | △12,052 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △181 | 2,169 |
| 長期借入れによる収入 | 1,432 | 10,219 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,226 | △3,300 |
| 社債の発行による収入 | 20,000 | 20,000 |
| 社債の償還による支出 | — | △5,000 |
| 配当金の支払額 | △1,043 | △1,006 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △152 | △77 |
| 自己株式の増減額 (△は増加) | △4 | △2 |
| その他 | △123 | △158 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 17,700 | 22,843 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 46 | 88 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △41,399 | 22,882 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 95,945 | 68,624 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 54,546 | 91,506 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 化成品 | 特殊品 | セメント | 機能部材 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 38,317 | 39,453 | 30,096 | 21,086 | 10,731 | 139,685 | — | 139,685 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 461 | 6,780 | 220 | 399 | 10,003 | 17,865 | (17,865) | — |
| 計 | 38,779 | 46,233 | 30,316 | 21,485 | 20,735 | 157,550 | (17,865) | 139,685 |
| セグメント利益 | 1,265 | 7,312 | 623 | 1,128 | 1,219 | 11,549 | (2,774) | 8,775 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を営んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 化成品 | 特殊品 | セメント | 機能部材 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 42,312 | 36,134 | 31,440 | 21,529 | 10,496 | 141,912 | — | 141,912 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 464 | 6,440 | 149 | 439 | 10,301 | 17,795 | (17,795) | — |
| 計 | 42,776 | 42,575 | 31,589 | 21,969 | 20,798 | 159,708 | (17,795) | 141,912 |
| セグメント利益 | 871 | 6,943 | 1,010 | 1,141 | 871 | 10,838 | (2,643) | 8,194 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を営んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

記載すべき重要な事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「セメント」セグメントにおいて、株式会社野津原及び株式会社豊海の株式を取得し、子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において328百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき重要な事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。